

第2回玉城町かわまちづくり協議会資料

# ワークショップの開催について

令和4年11月16日

## 【9/28 第1回かわまちづくり協議会】

整備に向けた具体的な事項（整備内容、利活用・維持管理方策等）について、意見を行う場として部会を設置する。（9/28第1回協議会資料より）

→地域住民ワークショップとするのがよい。



### 【実施方針】

宮川に関わりのある人たちで集まり、  
宮川でやりたいことについて意見を出し合う。

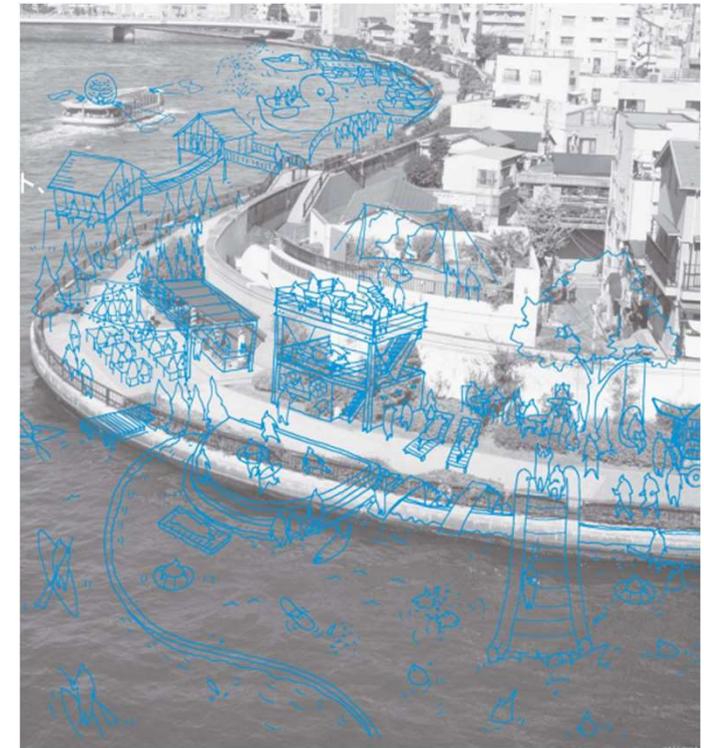
やりたいことを一枚にまとめたイメージ図をその場で作成する。

#### 協議会の進め方（案）

- 整備に向けた具体的な事項（整備内容、利活用・維持管理方策等）について意見交換を行う場として部会を設置する。
- 部会は、それぞれの立場から自由に意見交換が行えるよう、ワークショップ形式で行う。
- 部会は、実際に宮川を利用する機関、団体等から構成する。

#### 部会構成員の案

機関、団体名	理由
ミナテラスキャンプ実行委員会	左記の11月開催イベントから利用形態のあり方の検討が見込める
青少年を育てる会	年間を通じて天体観測イベントを実施している
たまきつながらるプロジェクト作戦会議	水辺の楽校の活用方法について意見交換をしている



# メンバー構成（案）

## 宮川を日頃利用している人

- 昼田地区、曾根地区住民
- たまきつながるプロジェクト
- 昼田地区水辺の楽校協議会
- 下外城田小学校、玉城中学校
- 水産総合研究センター増養殖研究所
- 玉城町民（町のSNS、HP、広報、回覧板等で周知）
- 伊勢市等近隣地域住民

## イベントでの利活用を検討している人

- 玉城町青少年を育てる会
- ミナテラスキャンプ実行委員会
- 玉城町内でなにかイベントを実施したい民間企業

## キャンプでの利用を検討している人

- キャンパー

（参考）第4回 昼田地区水辺の楽校協議会 出席者名簿

団体名	役職	
水産総合研究センター 増養殖研究所	所長	
水産総合研究センター 増養殖研究所	玉城分室長	
昼田区	平成24年度 区役員	
下外城田小学校	学校長	
下外城田保育所	所長	
玉城町教育委員会	教育委員会事務局長 補佐兼中央公民館長	
事務局	玉城町役場	参事兼建設課長
		課長補佐
		建設課主事
	国土交通省 三重河川国道事務所	副所長
		宮川出張所長
		調査第一課 課長
		調査第一課 専門調査員
		工務第一課 課長

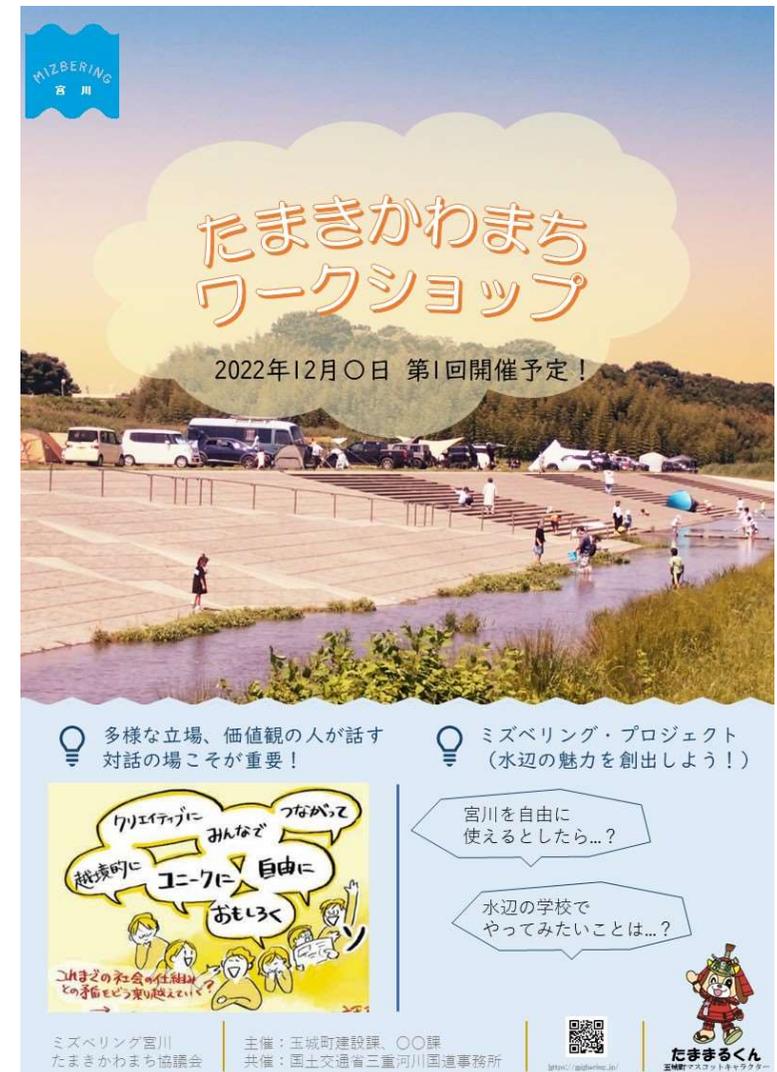
# タイムスケジュール（案）

	内容	時間配分
①説明（事務局）	<ul style="list-style-type: none"> <li>流れ、進め方の注意事項説明</li> <li>玉城町が目指す、川を生かしたまちづくりについて</li> </ul>	15分
②グループワーク	<p>【ファシリテーター※がここから進行】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個人ワーク               <ul style="list-style-type: none"> <li>A3の白紙と水辺の楽校の白地図を各自に配布</li> <li>宮川で何をしたいかフリップに書いてもらう（10分）</li> </ul> </li> <li>グループワーク※               <ul style="list-style-type: none"> <li>自己紹介（最近の出来事、宮川との思い出 とか）</li> <li>個人ワーク成果を発表・共有</li> </ul> </li> </ul> <p>※ファシリテーターは学識者等中立的な立場の人が望ましい。            ※グループリーダーは三重河川国道事務所、玉城町職員を想定</p>	60分  
③グループ発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>各グループ5分程度で、グループでまとめた結果を発表</li> <li>グラフィックレコーダーが一枚にまとめる。</li> </ul>	30分
④終了挨拶（事務局）	<ul style="list-style-type: none"> <li>WSの振り返り</li> <li>終了挨拶</li> </ul>	15分

☆見届け人として、リバーフロント研究所へ参加依頼を検討

# 実施イメージ（案）

- 参加人員：20～30人（想定）
- 所要時間：120分
- 開催時間：昼or夜
- 開催場所：屋内or屋外
  - 屋内：天候・時間に影響されない
  - 屋外：現地を見ながら実施できる
- 開催時期：（できれば）月一ペース
  - 第1回：12月中旬
  - 第2回：1月中旬
  - 以降、継続的な開催を検討
- 1グループ 4～5人程度
  - p2の分類ごとのグループを想定



ちらし  
（案）